

TKS REPORT

No. 38

第120期中間報告書 2025年3月1日 ▶ 2025年8月31日

株式会社 **東京衡機**

証券コード：7719



TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY



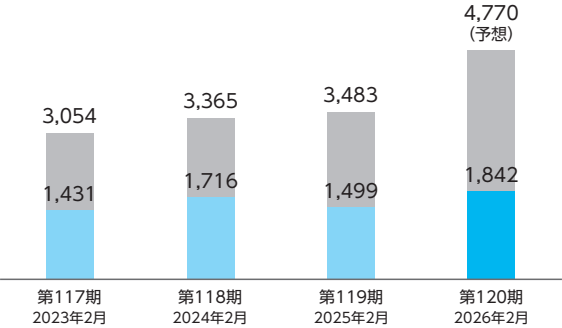
決算の
ポイント

- ✔ 試験機事業
 - ・重工業・鉄鋼・自動車業界を中心とする顧客の設備投資意欲が堅調に推移し、コア技術とカスタマイズ対応力が高く評価され、オーダーメイド製品の受注が順調に推移
 - ・ZwickRoell SE社との連携による販路拡充に加え、ASTOM R&D社のCAE解析技術と連動したソリューション提案が奏功し、開発・設計段階からの包括提案が増加傾向
 - ・過去最高水準となった受注残高の一部が売上として計上され、売上高・営業利益ともに前年同期を上回る
- ✔ エンジニアリング事業
 - ・主力製品のゆるみ止めナット・スプリングの需要が社会インフラ向けに堅調に推移し、電力ばねが前年同期比で大きく売上を伸ばしたほか、ナット製品も堅調に推移
 - ・電力会社向け新製品「スマートスプリング」や、通信鉄塔・都市開発向けに導入が進む「スマートハイパーロードナット」等の高付加価値製品の採用が相次ぎ、顧客ニーズに即した製品展開と営業力強化が奏功し、売上高・営業利益ともに前年同期を上回る
- ✔ デジタル事業
 - ・売上計上が主に1月から3月に集中する収益構造のため、中間連結会計期間ではセグメント損失を計上
 - ・損失はあくまで季節性のもので、通期では安定的な売上計上と収益改善を見込んでいる
 - ・将来成長に向けた先行投資として積極的に開発投資や専門人材の採用を行っている

売上高

(百万円)

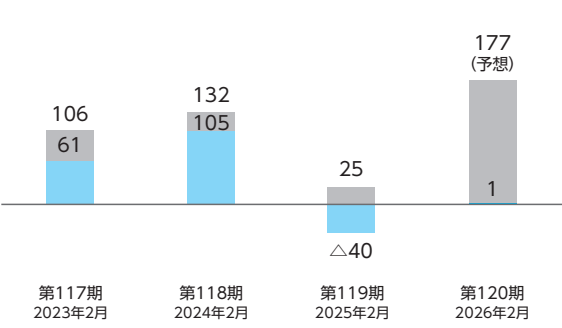
■ 通期 ■ 中間期



営業利益

(百万円)

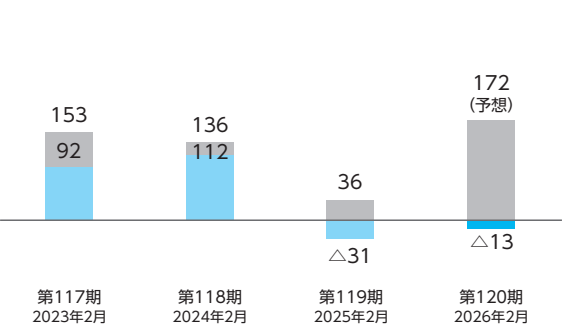
■ 通期 ■ 中間期



経常利益

(百万円)

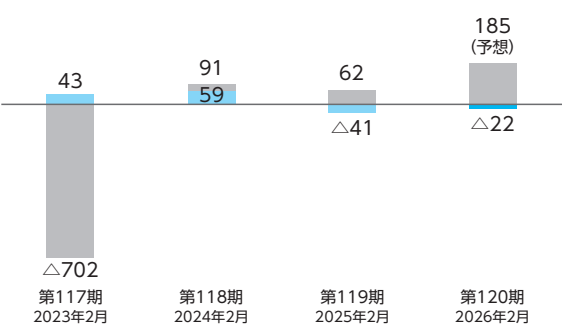
■ 通期 ■ 中間期



親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益

(百万円)

■ 通期 ■ 中間期



	第117期 2023年2月		第118期 2024年2月		第119期 2025年2月		第120期 2026年2月	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期 (予想)
財務関連データ (百万円)								
売上高	1,431	3,054	1,716	3,365	1,499	3,483	1,842	4,770
営業利益又は営業損失	61	106	105	132	△40	25	1	177
経常利益又は経常損失	92	153	112	136	△31	36	△13	172
親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益又は純損失 (△)	43	△702	59	91	△41	62	△22	185
総資産	3,793	3,445	3,200	3,664	3,229	3,773	4,589	—
純資産	2,162	1,416	1,476	1,520	1,500	1,624	1,714	—
自己資本中間 (当期) 純利益率 (ROE) (%)	2.0	△39.7	4.1	6.2	△2.8	4.1	△1.4	—
自己資本比率 (%)	57.0	41.1	46.1	41.2	45.5	41.7	33.8	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	208	△160	△179	219	△197	△594	426	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50	△51	250	186	△12	△47	△104	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△376	△383	46	35	△101	159	372	—
現金及び現金同等物の中間期末 (期末) 残高	892	515	632	956	644	474	1,169	—
1株当たりデータ (円)								
1株当たり中間 (当期) 純利益又は純損失 (△)	6.13	△98.49	8.39	12.78	△5.79	8.83	△3.13	25.94
1株当たり純資産	303.26	198.64	207.03	211.67	205.88	220.52	217.40	—

※2024年5月1日付で過年度決算の遡及訂正を行っており、第117期および第118期は訂正後の金額を記載しております。

株主の皆様へ

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第120期中間連結会計期間（2025年3月1日～2025年8月31日）におけるわが国経済は、インバウンド需要の回復や経済活動の正常化の進展により、景気は緩やかな回復基調にあります。一方で、中国経済の先行き懸念、中東情勢の緊迫化、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、米国トランプ政権の関税政策等、我が国経済を取り巻く世界情勢は依然として予断を許さない状況となっております。

このような状況の下、試験機事業につきましては、既存顧客を中心に受注拡大に注力しつつ、原価管理とコスト低減のため、相模原工場と豊橋工場の連携を強化するとともに、CAEソフトウェアの開発およびその受託解析・開発業務を行っている(株)先端力学シミュレーション研究所（2025年3月31日付で子会社化。通称：ASTOM R&D社）と連携して事業拡大のプラットフォーム作りに取り組んでいます。(株)東京衡機試験機は、顧客満足度の向上を目指して製品品質・サービスの向上に取り組むとともに、コア事業の発展が期待できる他社との業務提携や事業シナジー効果が期待できる分野への進出も検討してまいります。

また、試験機事業の持分法適用関連会社である(株)ZR東京衡機サービス（旧社名：(株)東京衡機試験機サービス）につきましては、同社の親会社である(株)ツビックローエルと戦略的な連携を深め、当社グループの試験機のメンテナンスサービスのほか、ZwickRoell SE社製品の日本市場でのアフターサービスの充実・拡大を進めています。

エンジニアリング事業につきましては、高速道路や橋梁等のインフラ向けゆるみ止め製品が好調に推移したほか、電力ばねの販売が前年同期比で大きく伸長しました。また、各種ナット製品も堅調に推移しており、市場シェアの拡大に向けた営業活動を引き続き強化してまいります。

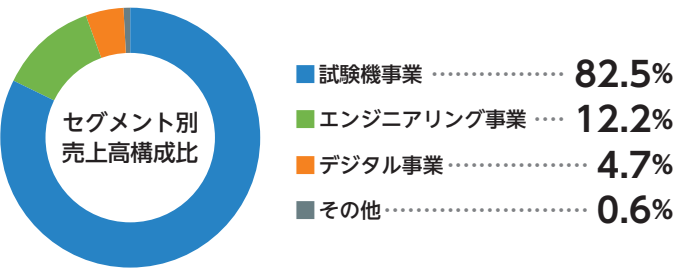
また、当社は、当中間連結会計期間からASTOM R&D社のメイン事業であるデジタル事業を主力事業に加えました。なお、当期連結累計期間の業績につきましては、ASTOM R&D社の売上が第4四半期に集中する収益構造のため、一時的に営業利益が希薄化しましたが、既存のグループ会社はいずれも前年同期比で増収増益を達成しており、コア事業の収益基盤は堅調に推移しております。グループ全体としては、ASTOM R&D社のCAE解析技術との連携を強化することで、第4四半期以降の収益拡大とさらなる企業価値向上を図ってまいります。

皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

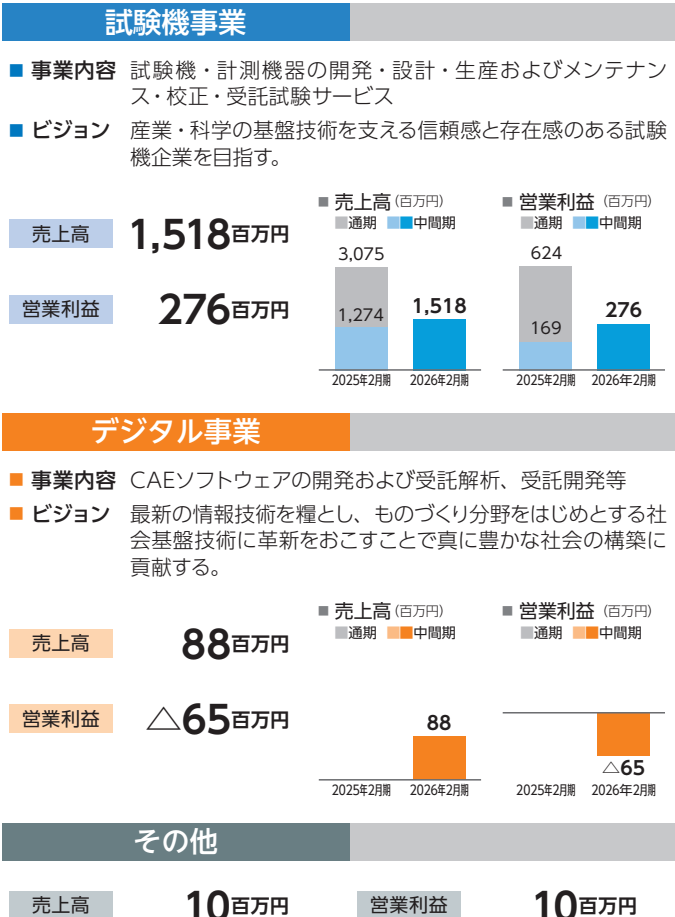
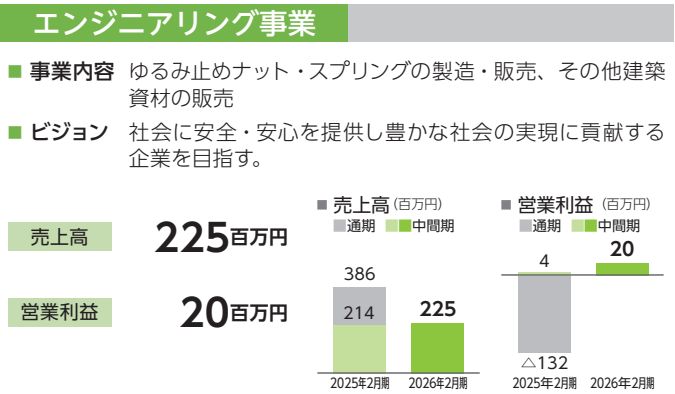


代表取締役社長 小塚 英一郎

セグメント別の概況



1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供しているエンジニアリング事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。



新中期経営計画の発表

(株)東京衡機は、2025年9月17日（水）に「新中期経営計画の策定および業績予想の修正に関するお知らせ」を、同年9月19日（金）に「新中期経営計画（補足資料）に関するお知らせ」を発表いたしました。今回のトピックスでは、新中期経営計画のポイントをご紹介します。

1 | 中期経営計画策定の背景について

当社は、本年3月に(株)先端力学シミュレーション研究所（通称：ASTOM R&D社）を子会社化し、試験機とCAE解析を組み合わせたソリューションを提供できる体制を確立しました。これにより、グループ内での技術・人材・顧客基盤の連携が進み、より大きなシナジーの実現が具体的に増えてくるようになり、持続的に成長できる事業の方向性が明確になったことが、新たな中期経営計画を策定するに至った大きな契機となっております。

2 | 目標とする経営指標について

2028年2月期に全ての経営指標の達成を目指しております。詳細については下記をご覧ください。

- 収益性および成長性の指標：
売上高成長率10%上、粗利益率35%以上、営業利益率10%以上、営業利益成長率10%以上
- 資本効率の指標：
ROE（自己資本利益率）20%以上、ROIC（投下資本利益率）15%以上
- 株価を意識した指標：
PBR 1倍超

3 | 株主還元政策について

当社は長きにわたり、グループ会社の財務状況等を踏まえて無配としておりましたが、この度、株主の皆様への復配を新中期経営計画の目標の一つとして掲げました。2029年2月期の復配を果たすべく、グループを挙げ鋭意努力してまいります。

新中期経営計画についてより詳しくお知りになりたい株主様は、当社ホームページをご覧ください。また、当ページ下部にあるQRコードを読み込むことでもご覧いただけます。

当社グループは今後も新中期経営計画の実現に向け、グループ一丸となって取り組んでまいります。

新中期経営計画の策定および業績予想の修正に関するお知らせ



新中期経営計画（補足資料）に関するお知らせ



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

「TEST2025-第18回総合試験機器展」への出展

TEST 2025 JAPAN TESTING TECHNOLOGY SHOW 2025

第18回総合試験機器展

当社グループの(株)東京衡機試験機は、2025年9月10日（水）から12日（金）までの3日間、東京ビッグサイトにて開催された一般社団法人日本試験機工業会主催の「TEST2025-第18回総合試験機器展」に出展いたしました。

展示会のテーマは「未来につなぐ試験と計測 “見える信頼-確かな品質”」で、本年3月に当社グループの一員となった(株)先端力学シミュレーション研究所（通称：ASTOM R&D社）の革新的なソフトウェアと、(株)東京衡機試験機が長年の歴史の中で培った試験機のノウハウが融合したデジタルツイン製品を展示いたしました。

会場では、DIC（デジタル画像相関法：画像から測定対象のひずみを計測できる技術）による実計測結果とCAE（Computer-Aided Engineering：コンピューター上で仮定のシミュレーションや解析を行うこと）解析を融合した「デジタルツイン試験機」の実演を行いました。また、ASTOM R&D社と(株)東京衡機試験機が共同開発したDIC計測機能付ELA試験機の実機展示の他、ドローンの研究・開発や性能評価に向けた技術紹介として「ドローン性能計測システム」や「ドローンシミュレータ」も展示いたしました。

(株)東京衡機試験機は、今後もASTOM R&D社との共同技術開発を進め、より良い製品の開発・販売を行ってまいります。



社員がARシミュレータのデモンストレーションを行う様子



主な出展内容

株式情報 (2025年8月31日現在)

株式の概況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数 [※]	7,133,791株
株主数	3,261名

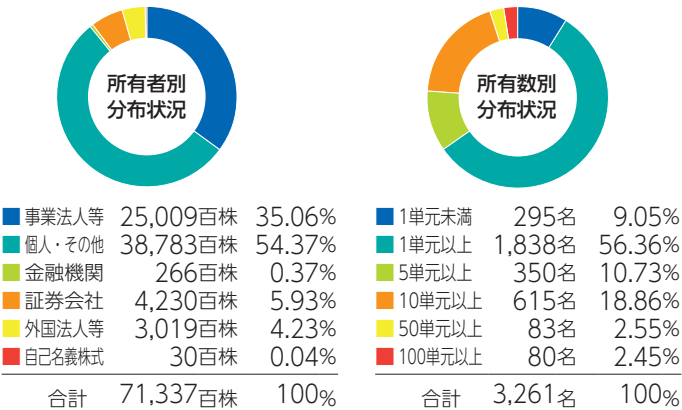
※上記の発行済株式の総数には、自己株式3,030株を含みます。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
Dream Bridge株式会社	21,401	30.01
スマート有限会社	3,074	4.31
山下 秀子	2,344	3.29
三菱UFJスマート証券株式会社	1,215	1.70
株式会社SBI証券	1,204	1.69
池上 道弘	1,068	1.50
岡崎 由雄	1,050	1.47
張 正達	985	1.38
齊藤 麗夫	806	1.13
浅野 利広	689	0.97

※持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式 (3,030株) を控除しております。

株式の分布状況



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1番1号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告 (掲載URL https://www.tksnet.co.jp/) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
 - 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

ホームページのご案内

IR情報や決算情報をはじめ、最新の事業動向をご覧ください。

<https://www.tksnet.co.jp/>



会社概要 (2025年8月31日現在)

商号	株式会社東京衡機
本社	東京都渋谷区桜丘町22番14号N.E.SビルN棟5階
本店 (登記上)	神奈川県相模原市緑区三井315番地
創立	1923年 (大正12年) 3月20日
資本金	5億円
従業員数	22名 (連結127名)
事業内容	● 東京衡機グループの経営戦略の立案・遂行 ● グループ子会社の統括管理およびサポート 【グループの事業内容】 ● 試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス ● ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス ● CAE ソフトウェアの開発および受託解析、受託開発等

役員等 (2025年8月31日現在)

代表取締役社長	小塚 英一郎
取締役 管理担当	伊集院 功
取締役 事業推進担当	鈴木 妥
社外取締役 監査等委員 (常勤)	渡辺 樹一
社外取締役 監査等委員 (弁護士)	松野 絵里子
社外取締役 監査等委員 (弁護士)	西谷 敦
社外取締役 監査等委員 (公認会計士、税理士)	中野 陽介
会計監査人	監査法人アリア

事業拠点

子会社
株式会社東京衡機試験機
東京支店 …… 東京都渋谷区桜丘町22番14号N.E.SビルN棟5階
相模原工場 …… 神奈川県相模原市緑区三井315番地
豊橋工場・中部支店 …… 愛知県豊橋市北島町字北島202番地
大阪支店 …… 大阪府大阪市淀川区宮原4丁目3番7号MPR新大阪ビル6階604
広島サテライトオフィス …… 広島県広島市中区白島中町13番13メッド白島102号室
株式会社東京衡機エンジニアリング
本店 …… 神奈川県相模原市緑区三井315番地
東京事務所 …… 東京都渋谷区桜丘町22番14号N.E.SビルN棟5階
仙台サテライトオフィス …… 宮城県仙台市青葉区一番町2丁目11番12号プレジデント一番町205号
株式会社先端力学シミュレーション研究所
本店・本社 …… 東京都文京区小石川5-5-5 プライム茗荷谷ビル5F
関連会社

株式会社ZR東京衡機サービス (旧社名: 株式会社東京衡機試験機サービス)
本店・本社 …… 神奈川県相模原市緑区三井315番地
西日本営業所 …… 大阪府大阪市淀川区宮原4丁目3番7号MPR新大阪ビル6階604



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。